

大阪柔整だより

「第33回 日整柔道全国少年柔道大会」準優勝！！

令和6年11月17日、柔道の聖地「講道館」にて、文部科学大臣杯争奪「第33回 日整全国少年柔道大会」が開催されました。本大会は「日本古来の武道である柔道を通じて少年少女の心身の健全な育成に努めるとともに柔道整復師の整復術の源でもある柔道で自己の鍛錬と研鑽に努め、講道館柔道の普及発展に寄与すること」を目的として開催されています。

大会の概要は、全国47都道府県48チームが予選を行い、男女混合の小学4年生1名、5年生2名、6年生2名の代表選手を選出し、先鋒4年生、次鋒・中堅5年生、副将・大将6年生の5人制の団体戦を行います。大阪府チームは11月の豊能大会を皮切りに河南大会、堺大会の個人戦地区予選を3回行い、各地区大会でベスト8に残った選手と前年の代表選手が7月に大阪柔整会館で行われる最終選考大会で戦います。そこで勝ち残った選手が代表に選ばれるという、選手にとっても大変出場価値のある大会です。代表選手は所属の道場を超えて一丸となれるように数回の合同練習会を経て全国大会に挑みました。このような経過を経て、11月17日に待ちに待った本大会が始まりました。一回戦秋田県チームに3対0、二回戦三重県チームに3対0、三回戦神奈川県チームに4対0、四回戦兵庫県チームに3対0、準決勝広島県チームに2対1と危なげなく決勝戦に進みました。決勝戦は宮崎県チームと均衡した戦いを繰り広げ、5人全員が引き分けて代表戦となりました。任意選出の代表選は両チームが副将を選出しました。大阪の代表選手の松山君は攻め続けるも試合巧者の相手に返され抑え込まれて悔しくも敗戦となりましたが、激戦を繰り広げた両選手には場内から惜しめない拍手が送られました。結果、大阪代表チームは準優勝となりましたが優勝の宮崎県チームに引けを取らない見応えのある素晴らしい試合内容でした。引率帯同の監督はじめ本会役員や各選手の保護者の方々は、最後まで攻め続ける大阪代表チームに、そして頼もしく成長した我が子の姿に感動されたことと思います。

こうして怪我もなく大舞台を終え、選手・監督・役員一同、無事に帰阪しました。

会員の先生方にも下記のQRコードから決勝戦の動画をご覧になっていただけたらと思います。

柔道部

[決勝戦の動画はこちら⇒](#)

